

第20回日本トライアスロン選手権大会 レポート

境 優希

所属 Vファーレン長崎・長崎県協会

開催日時 10月26日(日) 午前8時25分スタート

会場 お台場海浜公園 臨海副都心トライアスロン特設会場

競技距離 51.5km

スイム2周回 1.5km、バイク8周回 40km、ラン4周回 10km

大会結果 総合 2:16:19 36位

スイム 22:37、バイク 1:03:54、ラン 47:26

今回、5度目の日本選手権に参戦した。昨年はあと一步の所で完走出来なかったため、完走するという目標を達成するため強い気持ちで臨んだ。気持ちは過去の大会と比較してもすごく落ち着いていた。天候にも恵まれ、いい緊張感の中で大会当日を迎えることが出来た。



◇スイム

水温が18.3度だったためウエットスーツでのレースとなった。ウエットスーツだったため集団でのレースが予想された。一つでも上の集団で上がりたかったが、思うような位置でレースが出来ずきつい展開となった。第4パックでスイムを終えバイクに気持ちを切り替えトランジションに向かった。

◇バイク

トランジションは落ち着いていた。諦めないレースをしようと決めバイクスタートした。周回を重ねるごとに前のパックを吸収していき4周目を終える時には大きな集団になっていた。先頭集団との差を考えると完走ギリギリのラインだったので、スピードを上げていけるよう声を掛け合って協力した。ランに移るために40km全力だった。





◇ラン

バイクで思った以上に足を使ってしまっていたため2周目までは思うように走れなかったが、3周目からは徐々に体も動いてきた。ゴールまで何があっても諦めずに頑張ろうと思い周回を重ねた。5回目にしてゴールが出来た喜びは大きかった。それと同時に今後の課題がはっきり見えた試合でもあったので、またしっかり目標を持って頑張っていきたいと強く思った。

総評

5回目の日本選手権にして、ようやく完走することが出来た。3種目共に課題はたくさんあるとレースを終えて思った。足りない部分を明確にして今後の練習に励んでいきたいと思う。得にスイムの強化し、1つでも上の集団でレースをしていきたい。

最後になりましたが、ご支援・ご声援をいただいた皆様のおかげで最後まで諦めずに頑張ることができました。本当にありがとうございました。しっかり目標を持ち強い気持ちで臨んでいきますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。

Photo by 大西さん・池形さん